

『第2回新シルク産業創造研究会』及び『京丹後市挑戦型企業セミナー・第3講(繊維関連：シルクの応用)』を同日開催

平成27年3月4日
京丹後市役所

京丹後市では、内閣府の「地域活性化モデルケース」の採択を受け、蚕種業、養蚕業、製糸業、絹織物業、絹製品製造加工業など、現在の蚕糸・絹業の振興を図るとともに、絹の素材・機能を活用したヘルスケア産業、医療・医薬産業、産業素材産業など新たな絹産業の創業や事業創出を目指し取り組んでいるところです。

12月に初開催しました「新シルク産業創造研究会」の第2回目となる研究会を開催するとともに、繊維産業を成長産業とするため、シルクの応用をテーマとした「京丹後市挑戦型企業セミナー(第3講)」を下記のとおり同日開催します。

記

■第2回新シルク産業創造研究会の概要

丹後地域内に、蚕種業、養蚕業、製糸業、絹織物業、絹製品製造加工業等従来の蚕糸・絹業の創生・再生・振興を図るとともに、絹の素材・機能を活用した健康産業、医療・医薬産業、産業素材産業など新たな絹産業の創業や事業創出及び絹産業の集積化に向けて、研究会を設置します。

研究会では、参加者自らがシルクに関する多様な知識を学ぶとともに、参加者相互の協業可能性を見据えたマッチングを図ります。また、参加者による事業化に向けた具体的な活動を支援します。

1. 日 時：平成27年3月18日(水) 正午～13:30
2. 場 所：アグリセンター大宮 1階 研修室(大宮町口大野 228-1 電話 69-0662)
3. 内 容：以下の3つについて実現化に向けた課題研究を行います。

- (1) 繭の効率的生産に関する課題研究
- (2) 繭を活用した製品技術の確立に関する課題研究
- (3) 新産業創造に関する課題研究

<コーディネーター>

北丸 豊(キタマル ユタカ)氏(豊栄繊維株式会社 代表取締役社長)

小澤 七洋(オザワ ナナミ)氏(京都工芸繊維大学 産学連携コーディネーター)

井端 雅一(イバタ マサカズ)氏(京都産業21 北部支援センター 産学連携コーディネーター)

4. 対 象 者：京都府内蚕糸・絹業関連産業の事業者・関係者、及び新たなシルク産業の創出に関心のある方

5. 定 員：20人程度（先着順）
6. 参 加 費：無料
7. 主 催：京丹後市
8. 共 催：京都工芸繊維大学、京都府、京都産業21、宮津市、与謝野町、伊根町
9. 申 込 方 法：3月16日（月）までに、①企業・団体名、②所属・役職、③お名前、④連絡先を商工振興課へ連絡してください。

■京丹後市挑戦型企業セミナー（第3講）の概要

京丹後市では、市内事業者の新分野進出などへの挑戦や新たに繊維関連、特にシルクの応用に関する創業を考えておられるかたを後押しするため、成長産業分野に関する情報収集並びに技術開発などに関する知識の習得などを目的としたセミナーを開催しています。

第3講では、繊維関連産業を成長産業とするため、製糸にかかわらず広くシルクの医療分野への応用や活用方法などについて学んでいただきます。

1. 日 時：平成27年3月18日（水） 14：00～18：00
※情報交換会 17：00～18：00
2. 会 場：アグリセンター大宮 1階 研修室(大宮町口大野 228-1 電話 69-0662)
3. 内 容：
 - (1) 講演会
 - 講師① ・講師：信州大学繊維学部応用生物化学系 教授 玉田 靖 氏
 - ・演題：再生医療用材料としてのシルク利用の展望

 - 講師② ・講師：京都工芸繊維大学 理事・副学長 森 肇 氏
 - ・演題：遺伝子組換えカイコによる 再生医療用シルク・テグスの開発
 - (2) 情報交換会
講師並びに参加事業者等による名刺交換等
4. 対 象 者：市内企業及び一般希望者
5. 定 員：先着50名
6. 参 加 費：無料（情報交換会に参加する場合は1,000円/人 ※当日徴収します）
7. 主 催：京丹後市
8. 共 催：丹後織物工業組合、京都工芸繊維大学、丹後地域産業活性化推進会議
9. 後 援：シルクのまちづくり市区町村協議会
10. 申 込 方 法：3月16日（月）までに、①所属、②お名前、③連絡先を商工振興課へ連絡してください。

【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課

課長 高橋 尚義、課長補佐 引野 雅文、課長補佐 増田 知裕

主任 大江 敦博（新シルク産業創造研究会）、主任 松本 隆明（挑戦型企業セミナー）

TEL：0772-69-0440、FAX：0772-72-2030、E-mail：shokoshinko@city.kyotango.lg.jp